

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
設計製図 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	小林 郁夫 他 5 名			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
組織設計事務所で 9 年間設計監理の修業をしたのち、独立。約 1 4 年間、設計事務所を主宰。住宅・集合住宅の設計監理を主軸に、オフィスビル・寄宿舎・店舗・倉庫・宿泊施設などの業務経験をもつ。											
授業概要											
建築は計画敷地と切っても切れない関係にある。そこでこの授業では、敷地調査を行い、その敷地の情報を読み取りかつ周辺環境に与える影響などを考慮しながら設計を進めていく。設計実習においては、第一課題は不特定多数が利用する建物の公共性を理解させ、第二課題は狭小住宅ではあるが、街に開かれたコミュニティ空間を創出する創造性を求めた課題である。プレゼンテーションを通して、図面や模型の表現力を身に付けることを教えていく。											
到達目標											
この科目では、前期に学んだ正確な図面の書き方を踏まえて上で、公共性のある建築物と街に開かれた住宅の設計ができることを目標としている。健常者のみならず身体障害者の動作寸法および設備寸法を理解させ、街と共生し、なお且つ個性のある設計ができることを目標としている。以上を踏まえた上で、学生が 2 級建築士程度の知識が備わることが目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題	50%	設計課題を総合的に評価する									
小テスト	0%										
講評会	10%	自己表現力を養うために実施する									
出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、段階を追って進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては学生と講師のコミュニケーションを多くとり、理解度および想像力を高めることを目的としている。そのためにも、エスキス・スタディ模型を授業前には準備をして取り組むことを求めている。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先される。したがって期日内にしっかりと成果物を提出することが求められる。											
教科書教材											
初学者の建築講座-建築計画（第 3 版）、第 3 版コンパクト設計資料集成（丸善）、建築デザイン製図（学芸出版社）／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス / 第1課題 課題主旨説明 標準的なトイレの平面計画、立体造形（屋根のアイデア） / 敷地調査										
第2回	第1 課題 エスキス、スタディ模型作成 / 敷地調査のチェックおよび完成										
第3回	第1 課題 / 模型手直し エスキス案決定／ 展示模型ブラッシュアップ 自宅課題手描図面作成										
第4回	第1 課題 図面チェック / プレゼン模型作成										
第5回	第1 課題 / 第2課題 講評会（課題提出） / 課題主旨説明、敷地調査										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
設計製図 2	
第6回	第2課題 敷地調査のチェック / エスキス、スタディ模型作成
第7回	第2課題 エスキス、スタディ模型チェックおよび作成
第8回	第2課題 エスキス案チェックおよび案の決定 / 手書き図面作成
第9回	第2課題 手書き図面チェックおよび完成 / プレゼンシート案の作成
第10回	第2課題 プレゼン模型作成 / プレゼンシートのチェック、ダイアグラムの作成
第11回	第2課題 プレゼン模型作成 / ダイアグラム案チェック
第12回	第2課題 プレゼン模型チェック、模型写真撮影 模型ブラッシュアップ
第13回	第2課題 プレゼンシートのチェック1、模型ブラッシュアップおよび写真撮影
第14回	第2課題 プレゼンシートのチェック2、模型写真撮影、講評会の発表原稿作成
第15回	第2課題 講評会（課題提出）